

令和8年10月5日

第3学年保護者 様

加古川市立氷丘中学校

校 長 加 藤 勉

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果の返却及び結果の概要について

秋麗の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、4月23日及び5月1日に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が返送されてまいりました。1学期末及び9月下旬に、お子様の調査結果(個人票)を返却しております。

今回、調査結果(個人票)に示されているのは、学力の特定の一部分ではありますが、これまでの学習等の成果や取組状況について、お子様とともに改めて確認する機会にしていいただければと思います。また、今年度の本校3年生の結果の概要は下記のとおりです。詳細については、裏面をご覧ください。

記

1 学力調査の結果から

本校3年生全体の国語・数学・英語の学力状況は、すべての教科で全国平均基準を上回る良好な結果でした。特に、数学と英語は、兵庫県の平均と比較しても高い水準を維持しています。国語では思考力、判断力、表現力の中で、「書くこと」において良好な数値を示しています。数学では「数と式」及び「関数」について良好な数値を示しています。また英語では、「知識・技能」を問う問題、特に「聞くこと」と「読むこと」の領域では、良好な数値を示しています。3教科とも短答式の正答率が高い傾向にあります。一方、国語では「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにできる」こと、数学では「数学的な表現を用いて説明する」こと、英語では、即興で「話すこと」に課題が見られました。授業の中でそれぞれに取り組む機会を設定し、改善に取り組むたいと考えています。

2 質問紙調査の結果から

学習や生活に関する質問調査では、本校生徒の健やかな成長を示す結果が表れました。学校生活への満足感や友達関係の良さ、学級内で多様な意見が受容される安心感などの数値が非常に高い水準にあります。また、「困りごとや不安がある時に先生や学校の大人の人に相談できる」と答えた生徒の割合は全国・兵庫県平均を大きく上回っています。生徒が安心して過ごせる環境を維持していきたいと思います。

一方で、「読書の時間」や各教科の授業において「自分の考えを発表したり話し合ったりする機会」などの項目では、全国平均と比べるとまだ伸ばしていける余地があります。今後、本校生徒が持っている「安心して学校に通い、お互いを尊重し合える」という状態を大切にしながら、学校の授業の中で、多様な意見について話し合う機会を増やすなど、協同的探究学習の理念に基づいた授業改善をいっそう進め、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組んでまいります。